

ご案内

今年度内の研修について

◎新規提供会員基礎研修

日時：令和8年2月3日（火）9：30～15：15
場所：市役所3階 301会議室

◎提供会員ステップアップ研修

内容：発達障害のある子どもと保護者への支援について
日時：令和8年1月20日（火）9：30～12：00
場所：市役所5階 研修室

今後のサポートの際にも役に立つ、
とてもためになる内容です。
ぜひ、ご参加お待ちしております。

～感染症時のサポート～

今年は早い時期からインフルエンザが流行し、会員の方の感染やお子さまの学級閉鎖等のご連絡がありました。再度、お子さまの感染症時の対応についてお知らせいたします。

◎インフルエンザ等によりお子さん又はそのきょうだいが所属の学級閉鎖・学校閉鎖になったときはサポートができません。

◎提供会員のご家族が感染症に罹患、または所属する学級や学校が感染症等により閉鎖になった方がいるときは、原則としてサポートは行えません。

感染症対策をして、健康第一で活動を行ってください。

：募集：

研修でやってほしい内容がございましたらご連絡ください。
ご意見を参考に内容を検討いたします。



年末年始について

令和7年12月27日～令和8年1月4日までセンターは閉所します。

- ・ご依頼は余裕をもってお願ひいたします。
- ・災害時の緊急な連絡については会員の手引き14ページをご確認ください。

他の要項についても
再度確認してくださいね。



今年も大変お世話になりました。
来年もよろしくお願ひいたします。

ファミリー・サポート・センター便り



暑い暑いと言っていた季節も過ぎ
あっという間に
年末となってしまいました。
体調など崩していらっしゃいませんか。



10月9日（木）救命救急の講習が行われました

今年度は6名の提供会員の方が受講され、
消防署職員の方に質問をしながら真剣に
取り組んでおられました。



救命講習と虐待防止研修は5年
に1度の講習が必須となります。
救命講習を前回令和3年度以前に受講した方は、来年度の受講が必要です。
個別で受講されている方はセンターへご報告ください。



鎌ヶ谷市ファミリー・サポート・センター

〒273-0195 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷2丁目6-1

鎌ヶ谷市健康福祉部 こども支援課こども総合相談室内

MAIL : kfsc@city.kamagaya.chiba.jp TEL : 047-445-1354 (直通)

受付時間：月～金 8：30～17：00



頭を打ったとき

ころんだら
なぜ頭を打つの？

子どもの転倒は、つまり立ちができるようになる
生後10か月のころから起こり始め、ひとり歩きを
始める1歳でピークとなります。

子どもは重心が高く、相対的に頭が大きいため、転倒しやすく、低年齢ほど
頭にケガをしやすくなります。



直ちに救急車を呼ぶ



◎意識がおかしい
(興奮、眠りがち、反応が鈍い、
同じことを何回も言う)

◎目の周りや耳の後ろに
あざがある

◎けいけんしている



早めに救急外来を受診



◎たんこぶがあり、意識を
失ったけど今は意識が
戻っている

◎嘔吐する、強い頭痛がある



もしも頭以外を打った場合



直ちに救急車を呼ぶ

◎肩で息をするように苦しそうだったり、呼吸が速い→胸を打ったかも！

◎見た目が変形して変形した場所より先の色が悪く触られても感触がない→骨折して血管や
神経などに影響を与えてるかも！

◎おなかを強く痛がって顔色が悪い→内臓を痛めているかも！



早めに救急外来を受診



◎腕など変形していても色が悪く触った感じがわかる→骨折してるかも！



どうしたらよいか悩んだら
#8000に電話で相談しま
しょう。
(365日24時間対応)

子どもがつまずきやすい場所の
確認や、物につまずかないよう
に、日ごろから片付けたり予防
をしましょう。



子育て支援の心強い仲間が増えました！

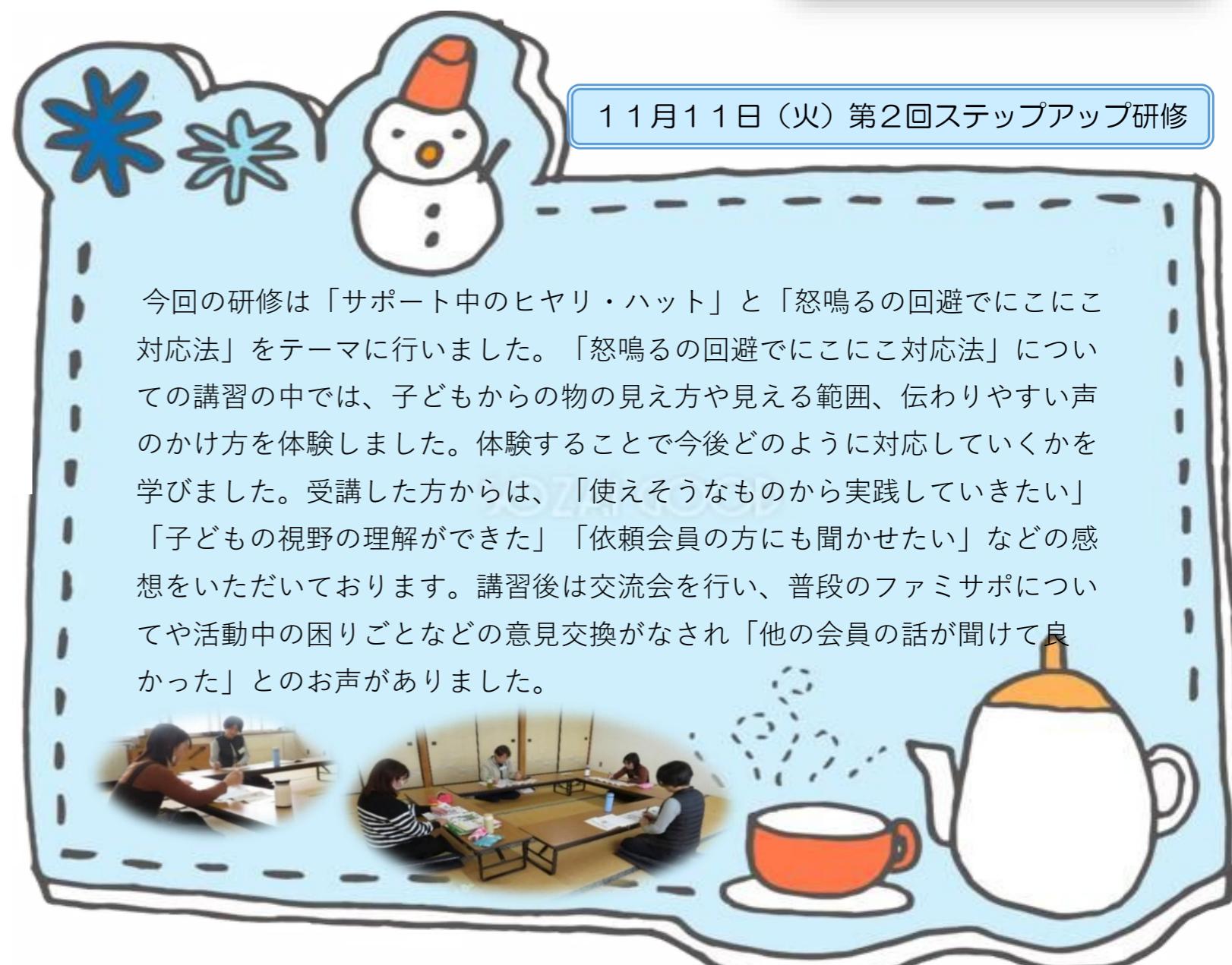
無理せず、末永く活動
していただければと思
います。
どうぞよろしくお願
いたします。



9月17日（水）新規基礎研修

お二方が受講されました。熱心に受講され、赤ちゃん人形を使って手遊び歌やあやし方、抱っこ
の仕方等を学びました。「意識した声掛けをや
っていきたい」「発達障害のお子さまとの関りは難
しいが勉強になった」などの感想がございました。

11月11日（火）第2回ステップアップ研修



今回の研修は「サポート中のヒヤリ・ハット」と「怒鳴るの回避でにこにこ
対応法」をテーマに行いました。「怒鳴るの回避でにこにこ対応法」につい
ての講習の中では、子どもからの物の見え方や見える範囲、伝わりやすい声
のかけ方を体験しました。体験することで今後どのように対応していくかを
学びました。受講した方からは、「使えそうなものから実践していきたい」
「子どもの視野の理解ができた」「依頼会員の方にも聞かせたい」などの感
想をいただいております。講習後は交流会を行い、普段のファミサポについ
てや活動中の困りごとなどの意見交換がなされ「他の会員の話が聞けて良
かった」とのお声がありました。

